

# 令和4年度トレーナー研究集会 研究テーマ

## (研究内容の設定趣旨)

これまで、日本連盟創立100周年に向けた長中期計画に沿って様々な施策を進め、導入訓練(ボーイスカウト講習会)、基礎訓練(スカウトコース・課程別研修、団委員研修所)、上級訓練(各実修所)の内容が改定されてきました。同時に各コースにおけるトレーナーの役割は大変重要となっています。しかし、定型訓練の場面(課題研修、スキルトレーニング、実務訓練など)だけがトレーナーの役割ではありません。参加された方々(保護者、隊指導者、団指導者)への修了後の支援がより重要になります。そのために、今回は定型訓練修了者に対する支援を考えていきたいと思えます。任務中の支援はコミッショナーと連携して進めますが、Adults in Scouting World Policyのパフォーマンスフェーズにおける「任務中の支援」でトレーナーとして何ができるのかを具体的に考えてみたいと思えます。

## テーマ①：「導入・基本訓練修了者への任務中の支援」

### (研究のポイント)

- ・ これまで実施した定型訓練について上手くいったこと、いかなかったこと等を振り返りその要因を探る
- ・ うまくいかなかったことや参加後の反応を見て、必要と感じた支援内容を具体的に考える
- ・ その支援は誰が行うのかを分類する(団指導者、コミッショナー、トレーナー)

## テーマ②：「トレーナーとしての任務中の支援の具体策」

### (研究のポイント)

- ・ 各地域の実情に合わせたトレーナーが行う具体的な支援内容や方法を考える
- ・ 現行の訓練を改定するものではない

以上